

# 障がい児や医療的ケア児を 育てながら働く親たちのための ハンドブックができました!



ケアが必要な子を育てることと仕事の両立には、企業の支援制度と福祉の制度が両輪となってかみ合っていく必要があります。当事者と企業の双方にとって分かりやすい冊子があるとよいという声を受け、私たち「一般社団法人 障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会」は「育児と仕事両立ハンドブック」を作成しました。ぜひ仕事と育児の両立にお役立てください。

## 中身はこんな内容です

- 仕事と育児の両立を阻む4つの壁
- どんなことに悩んでる？ 両立の実態
- 改正! 育児・介護休業法のポイント
- 困りごとと解決のヒント集
- 会社で、地域で、壁を破った仲間たち
- 「働きたい」思いを支える企業の取り組み
- 労使からのメッセージ
- 困ったときの相談先一覧



ケアが必要な子を育てながら働こうとする親には、  
主に **4つの壁** が立ちまわります。

### ① 復職の壁

出産後、子どもの入院が長引いたり、退院しても在宅医療が必要になったりする場合も。療育施設では母子通園を求められることも多く、すぐに復職できないこともあります。

### ③ 就学後の壁

自力登校できない子には付き添いを求められることがあります。放課後等デイサービスも毎日通えるとは限らず、預かり時間が短いことも多いため、居場所の確保が難しくなります。

### ② 育休明けの壁

保育園が見つかって、医療的ケア児の場合、看護師が常駐している時間以外は通園できません。地域によっては受け入れ可能な保育園があるとも限りません。

### ④ 学校卒業後の壁（「18歳の壁」）

生活介護事業所からは15時半～16時には帰宅し、その後は親が介護することになります。医療的ケアが必要な場合、生活介護事業所にすら通えないことも珍しくありません。

ハンドブックはダウンロードできます(PDF)

一般社団法人 障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会のホームページ内「両立支援」のページにも、相談窓口一覧など様々な情報を掲載しています。情報共有や相談はお問い合わせフォームからご連絡ください。

「育児と  
仕事両立  
ハンドブック」  
PDFはこちら



障がい児及び  
医療的ケア児を  
育てる親の会  
サイトはこちら





## 法律が変わりました!

法律に障がい児を育てながら働く親たちへの  
配慮の視点が初めて盛り込まれました

2025年に施行された「改正育児・介護休業法」では、**常時ケアの必要な子を育てる親も含めたすべての従業員**に対し、個別に意向を聴取し、配慮することが**事業主の義務**となりました。短時間勤務や看護等休暇などの制度の利用期間の延長なども交渉できます。「育児と仕事両立ハンドブック」には「意向確認書」の記載例も掲載していますのでご参照ください!

## みんなどんなことに悩んでる?

仕事との両立は綱渡りの毎日  
当事者はどんなことに悩んでいる?

障がいや疾患のある子を育てている場合、療育や診察、入院、登下校などの付き添いなどで平日の日中に仕事を抜けることも多く、子が成長するほどに親の負担が増えることもあります。

「子どもが2カ月に1度は2~3週間入院する。入院中は夕方職場を出て病院に直行し、妻と交代して病室に泊まり込み、翌朝病室から直接職場へ、という生活」

(医療的ケア児を育てる公務員)

「月6回の療育や、診察、装具づくりなど、週に2~3回は仕事を抜けなければならぬ」

(肢体不自由児を育てる会社員)

「中学生になると学童は利用できなくなり、放課後等デイサービスを利用することになるが、長期休暇中などは預かり時間が学童と比べて短くてどうやって両立させていくのか悩んでいる」

(知的障がい・自閉スペクトラム症の子を育てる公務員)



## 困りごと解決のヒント集

どうやったら働き続けられるか  
困りごと解決のヒントや実例が満載!

「保育園の受け入れ先がなかなか見つかりません」

「学校への送迎もあり、フルタイムで働くのが難しい」

「子どもが特別支援学校高等部を卒業後、平日夕方の居場所がなくなってしまう、働き続けるのが難しい」

「さまざまな診療科への通院が必要で看護休暇等が足りません」



こうした困りごとの解決のヒント集や、仲間を作って会社と交渉したり、自治体に働き掛けて突破したりしたケースなどを冊子で紹介しています。両立を支える国の指針やさまざまな社会的資源、同じ悩みを持つ親たちの事例などを参考にしながら、働き続ける道を探ってみませんか。

当会では、常時ケアを必要とするわが子を育てている親のみならず、  
共に考え、歩んでいきたいと考えています。

この冊子が日々の暮らしや悩みに、少しでもお力になればと願っています。